

各 位

令和6年10月3日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置計画等の変更認可申請について

原子力機構は、新型転換炉原型炉ふげんの廃止措置計画について、予備電源装置の仕様の具体化を反映する等の見直しを行うため、本日、原子炉等規制法^{*1}に基づき、原子力規制委員会に対して、廃止措置計画変更認可申請を行いました。

また、本変更認可申請内容を踏まえた反映等を行い、本日、原子炉等規制法^{*2}に基づき、原子力規制委員会に対して、原子炉施設保安規定の変更認可申請を行いました。

*1：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の34第3項において
準用する同法第12条の6第3項

*2：核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の24第1項

(添付資料)

ふげんの廃止措置計画変更認可申請について

以 上

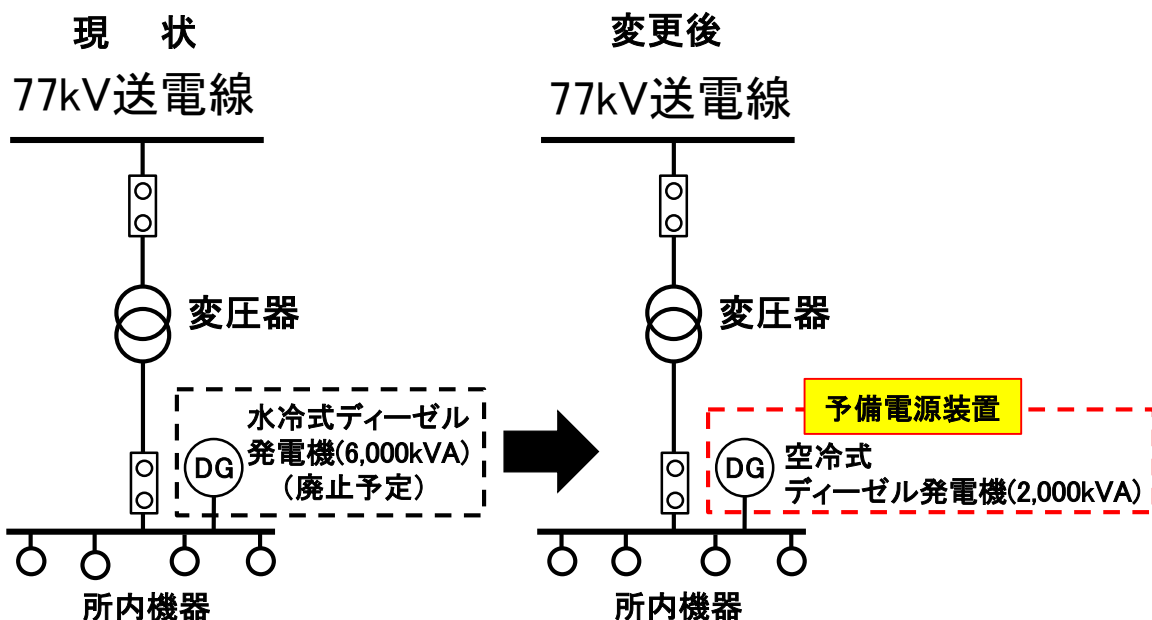
問合せ先：
敦賀事業本部 地域共生・広報課
電話番号 0770-21-5026

ふげんの廃止措置計画変更認可申請について

(予備電源装置の設置)

[申請の概要]

- ・廃止措置計画では、既設の非常用ディーゼル発電機を廃止措置段階に応じた規模の予備電源装置に取り替えることとしている。
- ・今回、予備電源装置として空冷式ディーゼル発電機を設置すること、およびその具体的な仕様、必要電力量の評価等を追加する。



予備電源が必要な所内機器
 ・放射線監視設備
 ・換気設備
 ・非常用照明設備 等 } 現在の必要電力量:最大約1,250kW
 (廃止措置の進捗に伴い、今後さらに減少)

予備電源装置(DG)の主な仕様

容量：2,000kVA
 (定格1,600kW)

冷却方式：空冷

寸法等

幅：約 3m

長さ：約10m

高さ：約 5m



図 予備電源装置 イメージ